

Porto de Mós

について



ポルト・デ・モス

ポルト・デ・モス (Porto de

Mós) という村の名は、ローマ人による支配の時代に起源があると考えられています。その頃船で航行が可能であったレナ川 (Rio Lena) に面して、この地には港がありました。この港では、地方一帯の石切り場から切りだされた石臼 (Mós) が船に積み込まれたり、降ろされたりしていたのです。

このポルト・デ・モスの地域には、数千年の昔から人が居住していました。その事実は、市立博物館 (Museu Municipal) を見学すれば、大変よくわかります。ここにはさまざまな恐竜の化石や骨格と並んで、各時代の人類の暮らしの跡が収められています。例えば、研磨された石英の道具 (石器時代・新石器時代) や、古代ローマ時代のコインや鉄製の槍などです。

付近で最も高い地点に立つ城は、13世紀にサンショ1世 (D. Sancho I) の命で再建されたものです。さらにその2世紀後には要塞を構えた宮殿に改築されました。その美しく、また大変珍しい姿は、今日でも目にすることができます。

周辺には、アイル・イ・カンデエイロス山脈自然公園 (Parque Natural da Serra de Aire e Candeeiros) が広がっています。石灰石の斜面にはいくつもの穴が口を開け、美しい地下の洞窟が奥へと伸びています。こうした洞窟には、中に入って探検できるものもあります。例えば、サント・アントニオ (Santo António) やアルヴァドス (Alvados)、ミラ・ダイレ (Mira d'Aire) の洞窟などがそれです。地上では、昔ながらの村々と石切り場の間にあるペドレイラ・ダ・ガリーニャ (Pedreira do Galinha) で、近年発見された恐竜の歩行の跡が見られます。また、古代ローマ時代の遺跡も残されています。その好例は、アルケイダオン・ダ・セーラ (Alqueidão da Serra) にある敷石の道です。

問い合わせ先

ウェブサイト: <https://visite.portodemos.pt/>